



ハーブビルドホーム創作教室

オリジナルキッチンを自作しよう

著作制作

株式会社ハーブビルドホーム

2012年4月

自作キッチン紹介 K邸 (2004年)



- 自分で作ろうと思った動機は、ハーブビルドホームの青木さんに勧められて
- ご自慢のポイントは、キッチンの壁材レッドシーダー(米杉)に合わせてキッチン本体と扉もレッドシーダー(壁の余り材)で作った
- 構造骨組みはレッドシーダー2×4材、構造だけハーブビルドの大工に作ってもらい、あとの扉作りと天板タイル貼りは自分たちで
- シンク(陶器)と水栓は米国コーラー社、輸入水栓パーツアウトレット業者メイン通商の茨城倉庫まで行って見て購入
- 製作原価不明(35万円くらい)
- 苦労した点 「レンジフードと納まりに苦労したが、大工さんに協力してもらったので解決した」
- 使ってみて 「深めの2槽シンクが使いやすい。天板のタイル目地は思ったほど汚れない、レッドシーダーが渋い色合いになってきた、友達が来ると皆驚くので我が家自慢です」

自作キッチン紹介 M邸 (2007年)



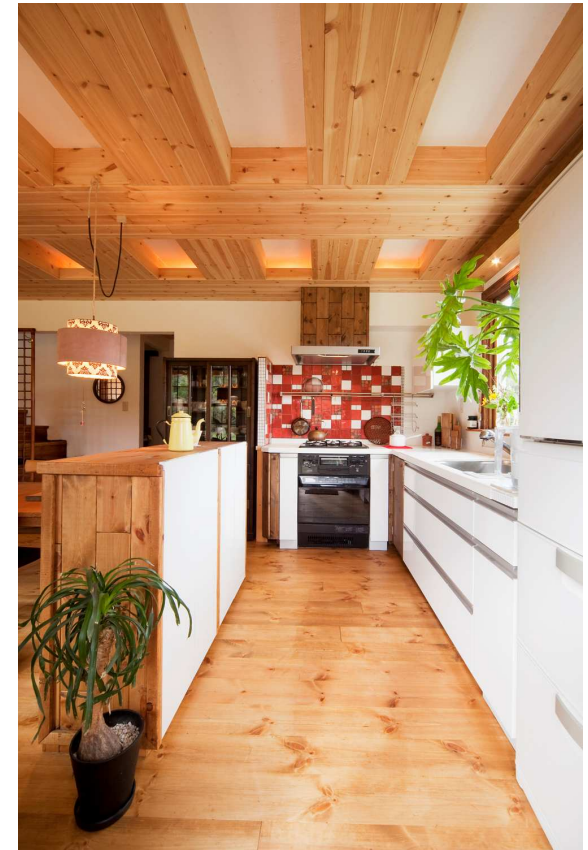
- 自分で作ろうと思った動機は DIY系の雑誌を見ていて、なんとなく出来そうだと思ったので
- ご自慢のポイントは、ホワイト塗装と木目調のツートーンで、構造もシンプルなところ、全部自分(奥様)でつくったところ、メーカーキッチンぽくなくてオリジナリティーがあるところ
- キャビネットはホームセンターで購入したランバーコア合板を使い自分で製作
- 天板もホームセンターで買った集成材の板
- シンク(陶器)、水栓、家具金物、IHヒーター、レンジフードはすべてネット通販で
- 製作原価不明(30万円くらい)
- 苦労した点 「引き出しを作るのに多少苦労したが、あとは特に問題なかった」
- 使ってみて 「集成材の天板は時々ワックスかけてメンテナンスしてるので特に不具合は無い。シンクとIHとの間をもう少し離すべきだった」

自作キッチン紹介 N邸 (2009年)



- 自分で作ろうと思った動機は ハービルドホームの手作りキッチン教室に参加して、なんとなく出来そうだなと思った
- ご自慢のポイントは、ホワイト基調のワントーン、引き出すゴミ箱、2種類のホワイトタイルを使い分けたところ
- 構造は2×4で、教室で教わったが、自信がないので一日だけハービルドの大工さんに手伝ってもらった
- タイル、シンク、水栓、IH、レンジフードはネット通販で購入
- シンク(COMO)、水栓、IHヒーター、レンジフード、タイルはネット通販で購入
- 製作原価 35万円
- 苦労した点 「IHヒーターと天板との納まり」
- 使ってみて「自分サイズに高さなど設定できるので使いやすい。3年使って特に問題はない」

S邸 (2011年)

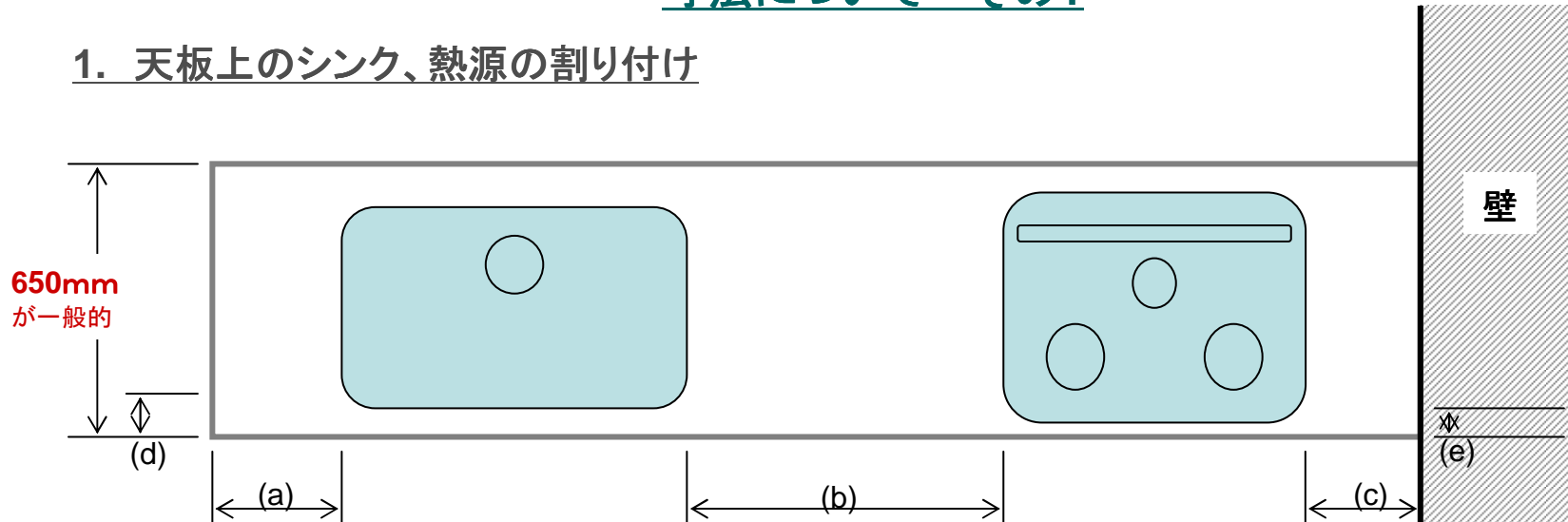


- 自分で作ろうと思った動機は いろいろ調べたら20万円台で買えるニトリのキッチンが最もコストパフォーマンスが高かったが、ニトリにはL型キッチンがなく寸法が指定できないため、ニトリのI型キッチンをL型に自分で改造手直しして自作した
- ご自慢のポイントは、赤いアートデザインタイルを貼ったレンジ前の壁、天井余り材で作った木製レンジフードカバー
- 製作原価 ニトリのI型キッチン27万円+その他材料費=合計32万円
- 苦労した点 「天板のカットと継ぎ目の処理に多少苦労した」
- 使ってみて 「とても使いやすい」

これだけは知っておきたい、キッチン基礎知識

寸法について—その1

1. 天板上のシンク、熱源の割り付け

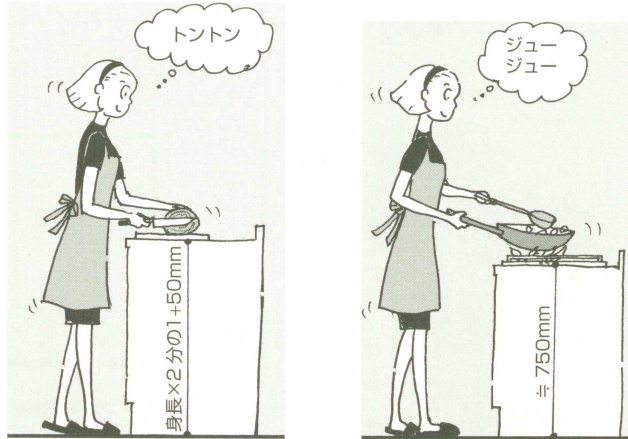


- [Check1] シンクの隣の寸法(a)=**ポンのスペース** つくれるなら**300mmは欲しい**
- [Check2] シンクと熱源の間の寸法(b)=**トントンのスペース** 最低でも**450mmは欲しい**
- [Check3] 熱源の隣の寸法(c)= 壁なら最低**100mmは離す** つくれるなら**300mm以上は欲しい**
- [Check4] (d)=できるだけ小さく、通常50mm以下、シンクを受ける構造下地材の寸法で決まる
- [Check5] (e)=ビルトインする熱源(ガスコンロ、IHヒーター)のメーカー設置説明書に記載
(添付のパナソニックIHヒーター設置説明書参照)

注>キッチンの間口巾、およびシンクとコンロ(IHヒーター)の位置については、建物の設計段階で確定しており、それに基づいて給排水配管工事や電気配線工事がされているため、勝手に変えると支障が出る場合があります

これだけは知っておきたい、キッチン基礎知識

寸法について—その2



[Check6] キッチン天板の高さ

一般的にメーカー品の場合 **H=850mm**

オーダーで作る場合、

- ① **トントンの高さ=身長×1/2+50mm**
(身長1.6mの場合: $1600 \times 1/2 + 50 = 850\text{mm}$)
- ② **ジュージューの高さ=トントンの高さよりやや低く(100mmほど)した方が使いやすい**

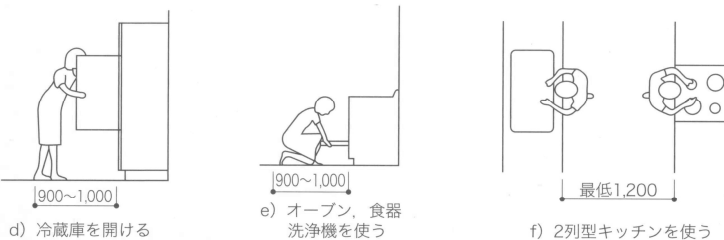
その他人の動作の空間寸法



a) フロアキャビネット (上部引出し) に収納する

b) フロアキャビネット (下部引出し) に収納する

c) オープンを使う+歩く



d) 冷蔵庫を開ける

e) オープン、食器洗浄機を使う

f) 2列型キッチンを使う

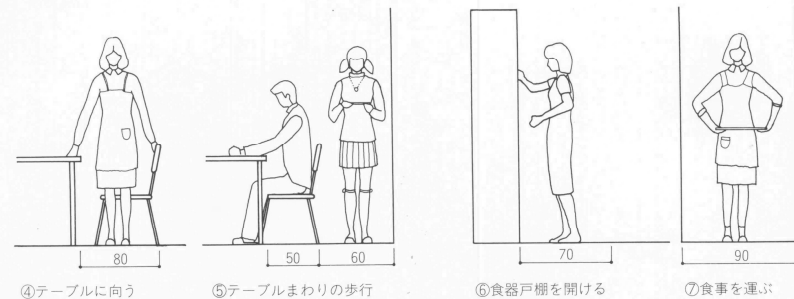
図 5・29 教科書で習う人間工学 (出典: ㈱日本住宅設備システム協会『キッチンスペシャリスト技術ハンドブック』1992年)



①食事を(テーブル)

②食事を(カウンター)

③食事を(座卓)



④テーブルに向う

⑤テーブルまわりの歩行

⑥食器戸棚を開ける

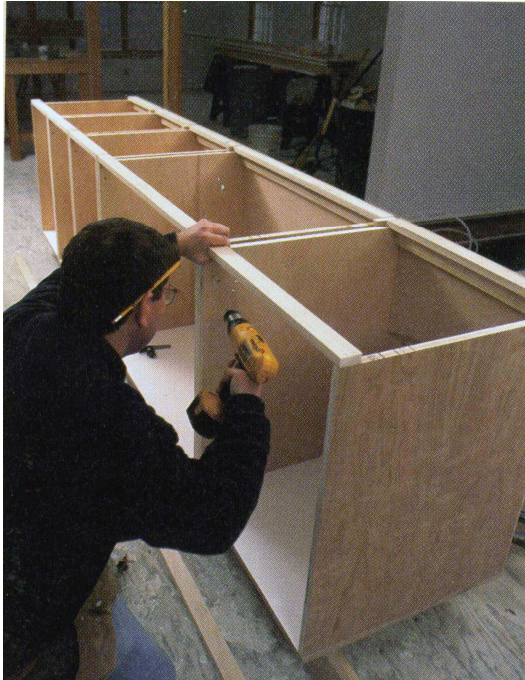
⑦食事を運ぶ

これだけは知っておきたい、キッチン基礎知識

構造(骨組み)は2種類

キャビネットボックス方式

ランバーコア合板で箱を組む
(現場以外でも製作可)



2×4フレーミング方式

ツーバイフォー材でフレーム(枠組み)を組む
(現場作りつけで作る)



ハーフビルドホームのキッチン自作サポートシステムでは、2×4方式で行います

これだけは知っておきたい、キッチン基礎知識

2×4フレーミング方式での仕上げ方法

下地合板ありタイル仕上げ



↑ N邸自作キッチン(2009年)

下地合板なし構造材あらわし仕上げ



↑ A邸自作キッチン(2005年) ※製作中画像です。このあと扉がつきます

これだけは知っておきたい、キッチン基礎知識

天板(ワークトップ)とシンクについて

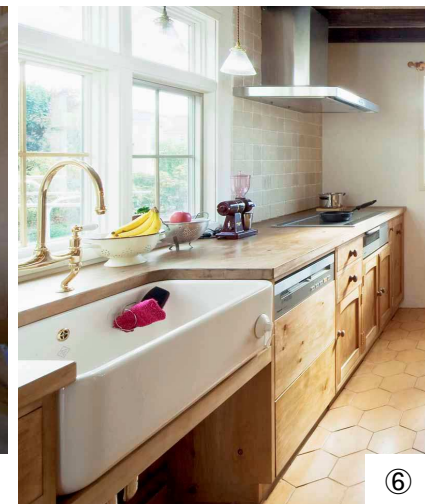
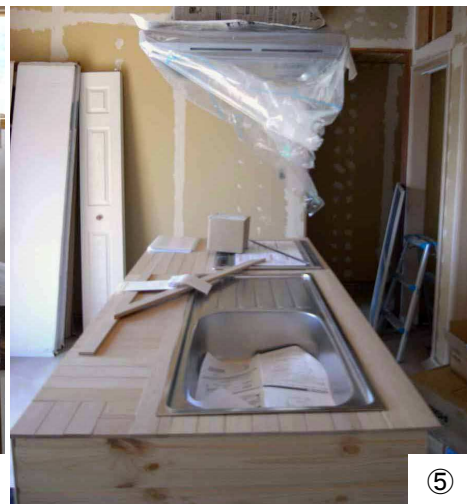


①ステンレスワークトップ
+ステンレス・アンダーシンク
(G邸自作キッチン)

②合板下地モザイクタイル
仕上げのワークトップ+COMO
オーバーシンク
(手作りキッチン教室試作品)

③②の下地合板の状態

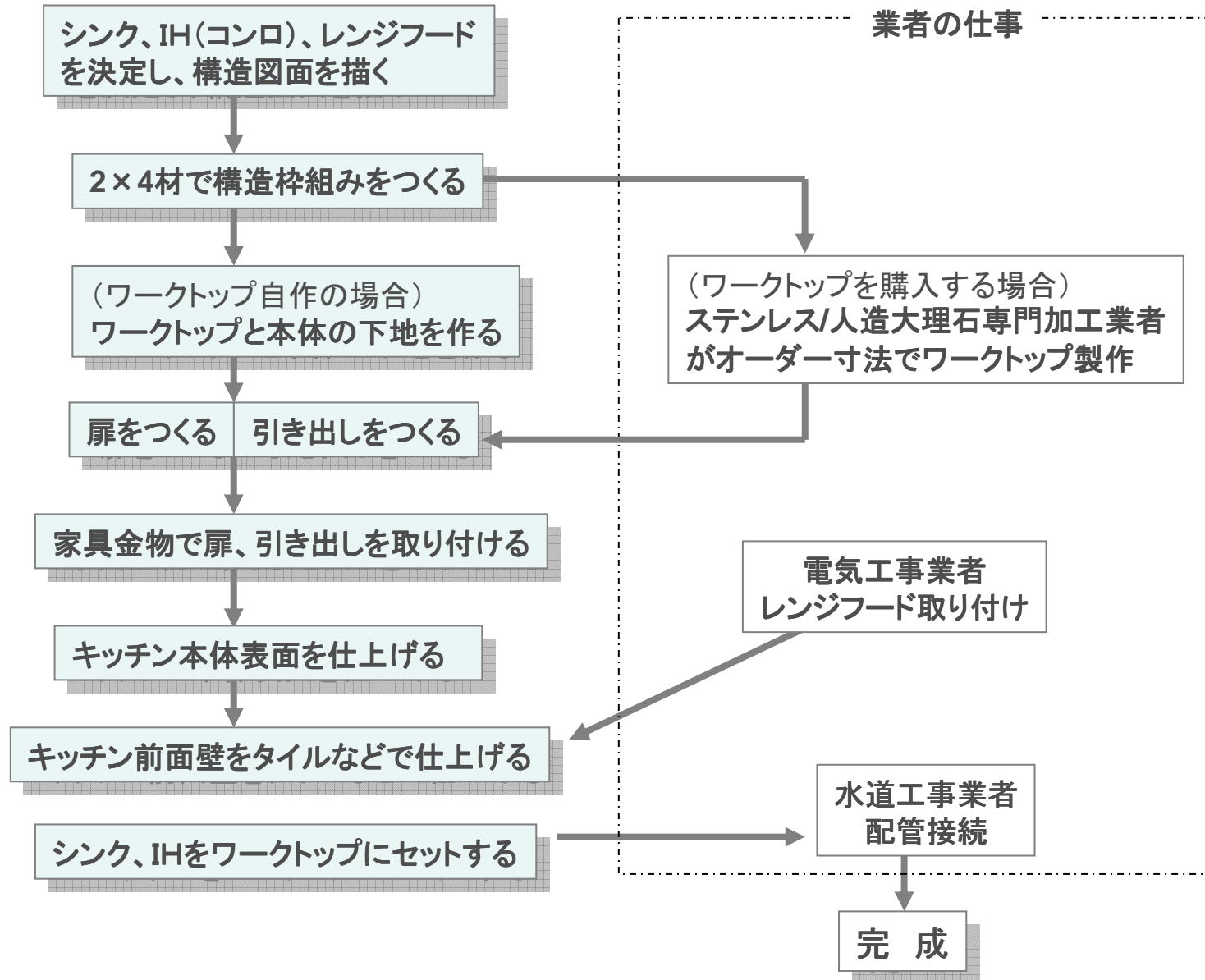
④人造大理石ワークトップ+
COMOアンダーシンク
(S邸・浜友製キッチン)



⑤合板下地無垢板貼りのワーク
トップ+ステンレスオーバーシンク

⑥無垢1枚板のワークトップ+
陶器シンク
(K邸・ラスティック・ツエンティーセ
ブン製キッチン)

オリジナルキッチン製作の流れ



キッチン自作を応援します

HALF BUILD HOME ・キッチンサポート体制

1. キッチン・コンサルティング
2. キッチン材料費積算サービス
3. 図面作成代行サービス
4. 現場レクチャー

料金 40,000円 + レクチャー時交通費実費

キッチン自作を応援します

1. キッチンコンサルティング

キッチン製作レクチャー担当(管野)が、施主様の要望をヒアリングしながら、自作キッチンに関する様々なアイデアを提案します。

ここで決めたことを、今後のハーフビルド内装現場レクチャーに反映することで、施主様が思い描く夢のキッチンが、「絵に描いた餅」でなく、現実のものになります

- 実施時期： ハーフビルド内装作業開始直後頃に実施
- 実施場所： ハーフビルドホーム那須ショールーム

キッチン自作を応援します

2. キッチン材料費積算サービス

コンサルティングを受けて、施主様が希望するキッチンに必要な材料を洗い出し、コスト積算を行い施主様にコスト積算書を提出します。

ただし、コスト積算は1回のみとさせていただきます。

2回目以降変更仕様による積算をご要望の場合は、有料にて申し受けます。

■ コスト積算する材料費の範囲

構造材(2×4材、合板)、シンク、水栓、IHヒーター(コンロ)、レンジフード
ワークトップ製作加工費、タイル、家具金物

キッチン自作を応援します

3. 図面作成代行サービス

コンサルティングを受けて、施主様が希望するキッチンの下記図面(手書き)を代行して作成します。

- 仕上図(平面図、立面図)
- 構造図(平面図、立面図)

ただし、図面作成は1回のみとさせていただきます。

変更により再度図面作成をご要望の場合は、有料にて申し受けます。

ご自身で図面を作成することも勿論可能です。

キッチン自作を応援します

4. 現場レクチャー

自作するキッチンの仕様が決まり、図面が確定したら、現場にキッチンレクチャー担当(管野)が出向いて、一日かけて下記を盛り込んだ実技レクチャーを行います。

- 2×4フレーミング
- 扉製作
- 引き出し製作

ここでのレクチャーは1日で行いますので、当然すべての作業を網羅することはできません。1日のレクチャーで足りない場合には、追加レクチャーを有料で申し受けます。



↑2×4フレーミングの現場レクチャー風景(T邸)
←天井材の余りでキッチン扉を製作(2009年手づくりキッチン教室)